

平成26年10月21日

## 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

### ○特記事項あり

#### プロジェクター（リコール対象製品）に関する事故について

（詳細は次頁以降参照）

- |  |    |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故<br>（うち石油ストーブ（開放式）1件）  | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因が疑われる事故<br>（うちテレビ（ブラウン管型）1件、換気扇1件、照明器具1件、<br>ノートパソコン1件、プロジェクター1件）  | 5件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因か否かが特定できていない事故<br>（うちタブレット端末1件、空気清浄機1件、自転車1件、<br>携帯電話機（スマートフォン）1件） | 4件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）<br>において、審議を予定している案件<br>該当案件無し                                 |    |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

### 5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

三洋電機株式会社（現 パナソニック株式会社に事業移管）が製造したプロジェクターについて（管理番号A201400435）

### ①事故事象について

三洋電機株式会社（現 パナソニック株式会社に事業移管）が製造したプロジェクターのコード部及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の電源コードのコネクタ内部の樹脂材料に含まれる難燃剤が加工不十分なため、その成分が温度・湿度等の影響によって空気中の水分と反応して導電性物質が生成され、コネクタ内部の端子間において絶縁が劣化して樹脂が炭化することで、出火に至ったものと考えられます。

### ②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2012年（平成24年）10月17日にプレスリリース及びウェブサイトへ情報掲載、10月18日に新聞社告を行うとともに、販売店でのポスター掲示や新聞折り込みチラシの配布、判明購入者への通知などを実施し、対象製品について無償の部品交換（対策済み電源コードへの交換）を呼び掛けています。

### ③対象製品：製品名、製造事業者名、品番、製造期間、改修対象台数

製品名	製造事業者名	品番	製造期間	改修対象台数
液晶 プロジェクター	三洋電機株式会社	LP-Z3	2004年9月～ 2005年12月	12,194
	松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）	TH-AE200	2002年9月～ 2003年9月	3,083
		TH-AE300	2002年10月～ 2003年8月	2,975
		TH-AE500	2003年10月～ 2004年8月	11,340
		TH-AE700	2004年9月～ 2005年8月	12,028
合 計				41,620

2012年（平成24年）10月17日からリコール(部品交換)を実施  
改修率：37.0%（2014年10月16日時点）

### <リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400435）発生以前の、2010年度以降同社の当該製品におけるリコール対象の内容による事故(リコール開始の契機となった事故を含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。


年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	1	火災
2012年度	1	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>

○三洋電機株式会社製

LP-Z3



 品番表示箇所

○松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）製

TH-AE200/TH-AE300/TH-AE500

TH-AE700



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償の部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電話番号：0120-878-560

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://panasonic.jp/support/info/ZA.html>

※三洋電機株式会社製品についても、上記窓口にて対応します。

（本発表資料の問合せ先） 消費者庁消費者安全課  
（製品事故情報担当） 担当：木原、後藤、清重  
電話：03-3507-9204（直通）  
FAX：03-3507-9290

（三洋電機株式会社（現 パナソニック株式会社に事業移管）が製造したプロジェクターについての発表資料に関する問合せ先）  
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当：水野、大塚 電話：03-3501-1707（直通）  
FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400436	平成26年10月4日	平成26年10月17日	石油ストーブ(開放式)	NCH-S24LD	株式会社ニッセイ	火災	建物が全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福島県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400428	平成26年9月19日	平成26年10月16日	テレビ(ブラウン管型)	15ZR5	株式会社東芝(現 東芝ライフスタイル株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	静岡県	製造から10年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは10月7日
A201400429	平成26年10月10日	平成26年10月16日	換気扇	不明	日本電興株式会社	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	北海道	製造から25年以上経過した製品
A201400430	平成26年10月3日	平成26年10月16日	照明器具	HD9410GPL	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	大阪府	製造から30年以上経過した製品
A201400434	平成26年10月6日	平成26年10月17日	ノートパソコン	CF-S10CYQDR	パナソニック株式会社	火災	当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	当該製品の一部のバッテリーパックは平成26年5月28日からリコールを実施している製品 当該事故製品のバッテリーパックはリコール対象外
A201400435	平成26年9月30日	平成26年10月17日	プロジェクター	LP-Z3(S)	三洋電機株式会社 (現 パナソニック株式会社に事業移管)	火災	当該製品の電源コード部及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の電源コードのコネクタ内部の樹脂材料に含まれる難燃剤が加工不十分のため、その成分が温度・湿度等の影響によって空気中の水分と反応して導電性物質が生成され、コネクタ内部の端子間において絶縁が劣化して樹脂が炭化する事で、出火に至ったものと考えられる。	滋賀県	平成24年10月17日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:37.0%

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400431	平成26年10月4日	平成26年10月16日	タブレット端末	火災	当該製品及び携帯電話機を含む周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	鳥取県	平成26年10月17日に公表した携帯電話機に関する事故(A201400423)と同一
A201400432	平成26年9月18日	平成26年10月16日	空気清浄機	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは10月7日
A201400433	平成26年9月12日	平成26年10月16日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、フロントフォークが変形し、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	事業者が事故を認識したのは10月14日
A201400437	平成26年8月20日	平成26年10月17日	携帯電話機(スマートフォン)	重傷1名	当該製品に着信があったため応答したところ、大きな音が鳴り、耳を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは10月10日

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

テレビ（ブラウン管型）（管理番号：A201400428）



照明器具（管理番号：A201400430）



ノートパソコン（管理番号：A201400434）

